

[参考事項]

新技術名： オウトウ「紅ゆたか」の果実特性（平成24～29年）

研究機関名 果樹試験場 品種開発部・天王分場班
担 当 者 高橋 功・照井 真

[要約]

山形県で育成されたオウトウ「紅ゆたか」は、「佐藤錦」と交雑和合性を有する早生種で、本県では「佐藤錦」より7日程度早い6月中旬に収穫できる。果実は8～10gと大きく、糖度は20%前後、酸味があり食味に優れるが、果頂部裂果がみられる。

[普及対象範囲]

県内オウトウ生産者及び新規生産者

[ねらい]

本県オウトウの主要品種である「佐藤錦」は中生種で、受粉樹には「佐藤錦」と収穫期が重ならない早生種の「香夏錦」、晩生種の「紅秀峰」や「ナポレオン」などが利用されている。しかし、「香夏錦」や「ナポレオン」は収益性が低く、「紅秀峰」は収益性は高いが栽培が難しい。このため、「佐藤錦」の受粉樹として利用でき、収益性が高く、栽培が容易な品種を探索する。

[技術の内容・特徴]

- 1 「紅ゆたか」の開花期は「香夏錦」とほぼ同じで、「佐藤錦」より1～2日早い（表1、表2）。
- 2 「紅ゆたか」は自家不和合性に関与する遺伝子型（S遺伝子型）がS3S6で、「佐藤錦（S1S6）」と交雑和合性がある。
- 3 「紅ゆたか」の果実は果重が8～10g、糖度が20%前後、酸度は調査年によるばらつきがあるが、食味は非常に良い（図1、表3、表4）。
- 4 「紅ゆたか」の果頂部裂果は、結実が始まった平成27年（4年生樹）から毎年みられ、平成29年の調査では商品性がない、または著しく低いと思われる果実（図2の小と大）の割合は27%と高い。

[成果の活用上の留意点]

- 1 果頂部裂果の発生がみられるので、導入前に自園地における活用方法をよく検討する。
- 2 「佐藤錦」より成熟期が早いので、雨よけビニールの被覆は早めに行う。

[具体的なデータ等]

表 1 「紅ゆたか」 5 年生樹の開花期（平成28年）

品種名	開花始	満開	落花
紅ゆたか	4 月22日	4 月25日	4 月30日
香夏錦	4 月21日	4 月24日	4 月30日
佐藤錦	4 月22日	4 月26日	5 月11日

表 2 「紅ゆたか」 6 年生樹の開花期（平成29年）

品種名	開花始	満開日	落花日
紅ゆたか	4 月25日	4 月30日	5 月 8 日
香夏錦	4 月25日	4 月30日	5 月 7 日
佐藤錦	4 月27日	5 月 1 日	5 月16日

表 3 「紅ゆたか」 5 年生樹の果実品質（平成28年）

品種名	収穫日	果重 (g)	果実径 (mm)			糖度 (brix%)	酸度 (g/100ml)
			タテ	ヨコ	ソク		
紅ゆたか	6 月10日（始期）	10. 1	22. 8	28. 6	23. 2	22. 3	0. 86
	6 月17日（盛期）	9. 9	22. 7	28. 1	23. 5	20. 9	0. 84
佐藤錦	6 月17日（始期）	7. 9	22. 7	24. 5	21. 9	18. 1	0. 69
	6 月23日（盛期）	8. 5	23. 2	25. 2	22. 2	19. 2	0. 74

表 4 「紅ゆたか」 6 年生樹の果実品質（平成29年）

品種名	収穫日	果重 (g)	果実径 (mm)			着色 (%)	糖度 (brix%)	酸度 (g/100ml)
			タテ	ヨコ	ソク			
紅ゆたか	6 月12日（始期）	6. 2	20. 2	24. 4	20. 1	83	17. 6	0. 446
	6 月16日（盛期）	7. 8	21. 3	25. 7	21. 4	78	19. 3	0. 423
	6 月19日（終期）	7. 8	21. 5	25. 4	21. 0	86	21. 7	0. 470
香夏錦	6 月16日（盛期）	5. 4	19. 6	21. 9	19. 1	75	15. 5	0. 662
佐藤錦	6 月20日（始期）	6. 7	21. 0	23. 1	20. 7	77	18. 5	0. 532
	6 月26日（盛期）	7. 6	22. 3	24. 7	22. 1	81	18. 8	0. 641



図 1 「紅ゆたか」と「香夏錦」の比較

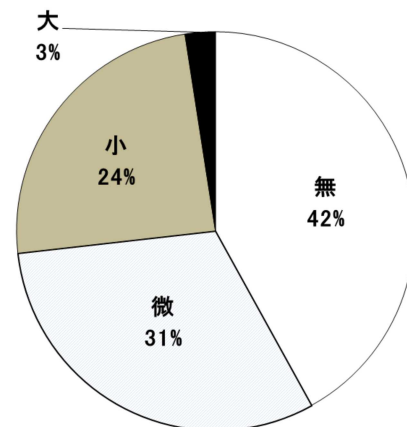


図 2 「紅ゆたか」果頂部裂果の程度別発生割合
（調査果数: 448、平成29年）

無: 裂果がない
微: 2mm以下の乾いた亀裂があり、商品性がやや低い
小: 3mm以上の明らかな亀裂があり、商品性が著しく低い
大: 10mm以上の裂開で糸状菌がみられるなど商品性がない

[発表論文等]

なし